

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【公表番号】特表2003-507564(P2003-507564A)

【公表日】平成15年2月25日(2003.2.25)

【出願番号】特願2001-518811(P2001-518811)

【国際特許分類】

C 0 9 D 183/04 (2006.01)

B 0 5 D 5/08 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

C 0 9 D 5/16 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 183/14 (2006.01)

C 0 9 D 185/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 183/04

B 0 5 D 5/08 Z

B 0 5 D 7/24 3 0 2 Y

C 0 9 D 5/16

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 183/14

C 0 9 D 185/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月1日(2007.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

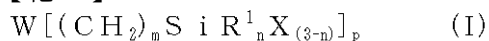
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 I) 一般式(I)：

【化1】



〔式中、

R¹は、C₁～C₁₈アルキルおよび／またはC₆～C₂₀アリールであり、分子中でR¹は同じでもまたは異なっても良く、

Xは、OH、C₁～C₄アルコキシ、C₆～C₂₀アリールオキシ、C₁～C₆アシルオキシ、好ましくはOH、メトキシまたはエトキシからなる群から選ばれる基であり、

nは、0～2であり、

mは、2～6であり、

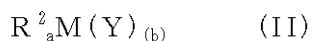
pは、2以上の整数であり、

Wは、直鎖、環式または分枝のシランまたはシロキサン of のいずれかである。〕

で表される多官能性カルボシランおよび／またはカルボシロキサン、および／またはそれらの(部分)縮合生成物、

II) OH官能性溶媒中で固形分が少なくとも40質量%、好ましくは少なくとも50質量%である、一般式(II)：

【化2】



〔式中、

Mは、Si、B、Al、Ti、Zr、V、Zn、好ましくはSiであり、

R²は、O、N、S、Pからなる群からの少なくとも1種により置換されていても良い、同じまたは異なる非加水分解性C₁～C₁₄アルキル基またはC₆～C₂₀アリール基であり、

Yは、加水分解性基、好ましくはC₁～C₈アルコキシまたはC₂～C₈アシルオキシ、特に好ましくはC₁～C₂アルコキシであり、

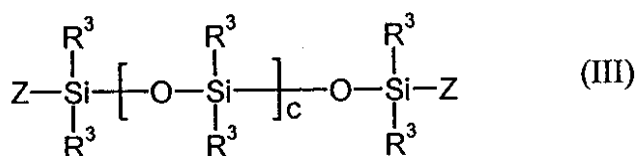
aは、0～3、好ましくは0または1であり、

bは、1～4であり、a+bは、3または4である。〕

で表される1種またはそれ以上の加水分解性化合物の重縮合生成物、

III) 一般式(III)：

【化3】



〔式中、

Zは、ヒドロキシまたはC₁～C₄アルコキシであり、

R³は、C₁～C₁₈アルキルまたはアルケニルであり、分子中でR³は同じでもまたは異なっても良く、

cは、1～60、好ましくは3～25である。〕

で表されるα,ω-官能性直鎖オリゴシロキサン、

IV) 酸性触媒、塩基性触媒または金属触媒からなる群から、好ましくは塩酸、硫酸、p-トルエンスルホン酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸、酢酸またはギ酸のような酸からなる群から選ばれる触媒、並びに、任意に、

V) 無機フィラーおよび／または無機ナノ粒子、および

VI) 塗料技術に属する通常の補助物質を少なくとも含有する塗料組成物。